

エジプト日本科学技術大学教育・研究機材調達計画【エジプト】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和8年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	エジプト・アラブ共和国
(2) 案件名	エジプト日本科学技術大学教育・研究機材調達計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを 含む	エジプト、アレキサンドリア県ボルグ・エル・アラブ市に位置するエジプト日本科学技術大学（E-JUST）において、新設される工学部8学科（電子通信工学科、コンピューター情報工学科、メカトロニクス学科、産業・製造工学科、材料工学科、エネルギー資源工学科、化学石油学科、電気エネルギー工学科）の教育・研究用機材を整備することにより、同学部において、実験・実習や研究に基づく実践的な教育の実施を図り、もって同国の産業及び社会の発展に貢献する人材の育成に寄与するもの。 事業の内容 ・ E-JUST 工学部8学科用教育・研究用機材、安全装置の設置 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成28年3月8日 イ 供与限度額：20億円
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、エジプト政府は、理工系分野の人材育成及び研究能力強化のため E-JUST の工学部開設及び新キャンパス建設を進めており、新設される工学部8学科に対し、基盤強化に向けた高度な教育・研究用機材の整備が先方政府より求められていた。 2021年に機材を設置する新キャンパス建屋の建設が完了し、工学部8学科の運営が開始されているが、エジプト国内大学における研究機材の不足、理工系分野の海外への人材流出などが依然として大きな課題となっており、人材育成及び研究能力強化のための機材整備などが必要とされていることから、引き続き本事業に関する社会的ニーズは高い。 イ 事業遅延に関する経緯・現状

	2016 年 7 月の贈与契約締結後、先方負担による新キャンパス建屋建設の遅延、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航中断（技術者による機材搬入・据付作業の中断・遅延など）、案件長期化に伴う機材の不具合などの要因により事業が遅延している。現在 90%以上の機材調達が完了しており、2026 年度内の早期完工を目指している。
（２）今後の対応方針	本事業に関する社会的ニーズが引き続きあり、当初予定どおりの効果が見込まれているため、事業の進捗を妨げていた機材の不具合に対する対応を慎重にフォローしつつ、本事業を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ その他国際協力機構から提出された資料